
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 講 師 目黒 紀夫

U R L :

研究キーワード : マサイ、ケニア、保全、開発、伝統

■研究テーマ

① 伝統をめぐるマサイの「ポジショニングス」の多様性と可能性

本研究の目的は、「伝統的」なアフリカを象徴する民族として世界的に知名度が高いマサイの人々が、環境保全、国際観光、知的財産という三つの異なる文脈において、「マサイの正しい伝統」を今日どのように表象しているのかを比較分析することです。そうした試みは、グローバルに「正しい」とされる価値にあうように表象の内容を操作したうえで、メディアをつうじてそれをグローバルに流通させようとする「ポジショニングス」の実践といえます。本研究は三つの事例の比較から、マサイの人々による「ポジショニングス」の実践の多様性と可能性を明らかにすることを目指します。

② 「アフリカ潜在力」と現代世界の困難の克服：人類の未来を展望する総合的 地域研究

本研究の目的は、アフリカを救済・同情の対象あるいは資源の供給源や有望な市場とのみ見なしてきた従来の認識を刷新し、アフリカが有する問題解決と発展への潜在力を解明し、それが有する人類社会に対する貢献の可能性について総合的に検討することにあります。特に、環境・生態にかんする問題の解決手法としてグローバルに採用されるようになっている環境ガバナンスの理論を対象として、多様な主体の協働と順応的な試行錯誤を掲げるその論理を、各国の事例を「アフリカ潜在力」の視点から分析することを通じて検討します。

■研究テーマの応用例

■主な著書、発表論文

Meguro, Toshio “Gaps between the Innovativeness of the Maasai Olympics and the Positionings of Maasai Warriors,” *Nilo-Ethiopian Studies* Vol. 22, 2017.

山越言・目黒紀夫・佐藤哲 編『アフリカ潜在力 5 自然は誰のものか—住民参加型保全の逆説を乗り越える』京都大学学術出版会, 2016年.

目黒紀夫「現場を取り巻く知識の多様性—ケニア南部の野生動物保全の事例から」『国際開発研究』24巻2号, 2015年.

目黒紀夫『さまよえる「共存」とマサイ—ケニアの野生動物保全の現場から』新泉社, 2014年.

■主な特許、芸術作品等

■想定される連携先